

布津笑楽校だより

第13号

令和6年1月11日
南島原市立布津小学校
文責：校長 横田 秀富

だれもが笑顔で楽しい令和6年になりますように！

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。17日間の冬休みが終わり、3学期が始まりました。それぞれのご家庭において、思い出に残る時間になったでしょうか。子どもたちも大きな事故や病気などがなくて本当によかったです。子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。3学期は1年間の中で授業日数が最も少ない学期です。1～5年生は51日、6年生は49日です。4月の進級、進学に向けて「まとめ」と「つなぎ」の3学期になるように全職員で協同一致して教育活動に取り組んでいきます。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

さて、元日に発生した北陸地方（石川・富山・新潟）での大地震により、尊い生命を失われた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに被災された方々に対して心よりお見舞いを申し上げます。報道等で現地の様子や救助活動の大変さを目にするたびに現地の方のことを思うと胸が締め付けられる思いです。また、石川県在住の知人から建物の崩壊や道路の隆起などの被災状況の話を聞いたり写真で見せてもらったりしていると、日常の何気ない生活を送ることができることの有難さを痛感したしいです。2日には、羽田空港滑走路での航空機の衝突事故が起こりました。年明けから「生命の安心・安全」が如何に重要なものであるかということ強く考えさせられました。私も普賢岳災害の影響で、生家が土石流で埋まりました。仮設住宅での生活も経験しました。始業式では、「学ぶ」ということや周りの人が喜ぶことをしたり周りの人にやさしくしたりして互いの存在を大切にすること。今を、一日一日を大切に過ごしていくように子どもたちに話をしました。

ご家庭でも「いのちの尊さ」などについて話題にしていただけると幸いに存じます。

ミニ豆知識

十干十二支（じっかんじゅうにし）でみると令和6年は、「甲辰（きのえたつ）」の年。

「甲」は十干の最初の文字で物事の「はじまり」を象徴するそうです。昔の成績順が甲・乙・丙であったように「一番目」の意味や「優勢であること」を表すほか、「まっすぐに堂々とそそり立つ大木」を表しているそうです。

「辰」は、十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。この2つの組み合わせである「甲辰」には「成功という目が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているそうです。